



シルバー通信

後期号：第41号の2(平成22年度)
発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会
編集：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会広報
〒540-0012 大阪市中央区谷町5-4-13
大阪府谷町福祉センター
TEL 072-753-9087(理事長宅)
ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp>

”SA活動の灯は絶対に消さぬ”

開かれた魅力ある組織の構築 急務

SA連協 理事長 和佐義顕(いけだ 19期・都市環境)



あつという間の一年間でした。いろいろありました。会員さんは勿論、理事、役員各位には役割分担をしながら、それぞれに十分、各立場において、その意を汲んで計画を達成して頂いたことに感謝します。

今年、昨年までの運営等の反省や、声なき声の要望を考えながら、スタートしました。

まず、基本姿勢として、主体的に行動する“動”というキーワードでもって、行動する連協を打ち出しましたが、どうだったでしょうか。全理事の皆様は三つの委員会のどれかに参画頂くことにしましたが、全体行動につながりましたでしょうか。今後の各理事各位の意識向上に期待します。

これまでの受身体質では、遅れをとることから、具体的活動として、渉外委員会でのプロジェクトチームの編成による個別対応に一定の効果を見ることが出来ると思います。特に、認定証の申請にSA連協も高大と共に作業を進めました。果たして、修了生の意識はどうだったか気になる所ですが。渉外委員会のプロジェクト担当のご苦勞に謝意を表します。

連協内、各地区相互の交流を図る目的でのブロック交流も2年目でありました。歌体操、おもちゃの部会それぞれとの連携で、各ブロックとも理解が進み、来年にもつながって行くでしょう。

SA活動の広報として、大阪アクティブシニアフェア 2010 と高大の文化祭への参加も

例年同様に行いました。しかし、その労力対効果には、かなり気になります。来年からは大きく変わるでしょう。

部会活動は、新しく都市環境部会の立ち上げ、HP部会では、連協ホームページから、ブログへの展開に関心が移り、今後の各地区からの活動記事に反映してくることが期待されます。福祉IT部会では、授産施設の新規掲載が徐々に増えてきており、地区への働きかけもあわせて活発になり、大阪府の介護室でもSAとしての評価も高い活動です。

このように、さまざまな取り組みを進めてまいりましたが、特筆すべきこととして、高大との募集要項やカリキュラム等のやり取りの中で、SAに対する考えに危機感を覚え、「SAあり方委員会」を立ち上げ、4回にわたり、役員、ブロック幹事等の各位と意見交換を行いました。ほとんど、現状問題の把握で終始しましたが、この先、どの様に変えていくか結論は見えません。

昨今の高大での受講生の動向を見る限りでは今後、SAにおける会員数の先細り等、組織の弱体化は避けられません。今日までのSA活動の灯は、絶対に消してはならないというこだわりの中で、広く開かれ、かつ、魅力あるSA組織の構築が急がれます。

無縁社会、高齢社会の現下において、今一度、私達の活動の果たすべき役割を考えたいと思います。

S A 連協 今年の活動振り返り

S A連協事務局長 小川 忠夫

(吹田 18 期・世代間交流)

今年の活動は昨年度の活動の継続であり、特段、目新しい活動はできなかったのではないかと考えています。しかしながら、それぞれの活動を革新して前向きに活動できたのではないのでしょうか。

◆ホームページ部会

特に今年目立ったのはホームページ部会 (HP 部会) であり、これには地区 S A の積極的な参加があり、画面が刷新できて、はつらつとした活動ぶりが、地区 S A の多くのブログに現れています。HP の活動は継続的な更新が不可欠で、これがなされると、活動そのものが停滞していると誤解されます。いくら活発な活動をしていても、何ヶ月も前の活動がそのまま掲載されていると、その間、活動していないように思われます。HP の大切さがよくわかります。

HP で、もう一つ重要なことは、行政をはじめ、全国規模で注視されていて S A 連協、地区 S A の活動ぶりが発信されます。思いもかけない誤解を生むこともあり、S A 連協の活動が正しく伝わらないとするならば残念なことです。その観点からしても、今年 HP の活動は的を射た活動であったと考えています。

◆その他の部会活動

福祉 I T ・おもちゃ・歌体操は昨年引き続きの活動でしたが、それぞれに昨年の活動を上回る活動であったと思います。特におもちゃの活動は、初めてブロック別に交流会を中心にした各地のイベントに参加するなど、充実した活動展開になったと考えています。歌体操は昨年の北ブロックの吹田に引き続いて、歌体操フェスタを南ブロックの堺で開催できて大変よかったと考えています。従来大

きなイベントはどうしても、北ブロックや大阪市内で行われていましたが、今回、南ブロックで開催されたことは大きな成果であったと考えています。福祉 I T の活動も年々活性化され、今年の高大文化祭での授産施設の販売品の売り上げも目を見張るものがあり、活動の成果が出たものと喜んでいきます。環境部会は新しく活動を開始し、今後の活動ぶりが注視されます。

◆活動活性化の要因

今年の活動が当初計画していたものより、大きな活動になったのは二つの要因があったと感じています。

一つの要因は、S A 連協の理事会での理事全員によるブロック交流会で議論したことであります。このことにより、各理事の北・中・南と分かれて行った歌体操・おもちゃの活動に積極的に参加いただいて盛り上げていただいたことが大きかったと考えています。

もう一つの要因は、それぞれの活動に、助成金が使われ、いろいろな行事ができたことだと思っています。歌体操やおもちゃのブロック活動も、この助成金をうまく使うことによって活発に行うことができましたし、複数の研修会にも有効に使うことができ、活動の側面を支えたと思っています。特に、おもちゃの大阪府地域福祉基金による助成金は継続して 4 年間受給できる特別な助成金であり、今後もこの助成金を使いながら、さらに活動を活性化させていくことができると考えています。

S A 連協の活動は年々活発化していくと考えがちですが、現実には必ずしもそうではなく、多くの問題点や課題を抱えています。その最大のもの、高大の S A 講座の受講者の減少により、新たな人材の供給源が先細りして、将来的には非常に危機的事態も予想されます。S A 連協、地区 S A としても新たな活動の展開を思い切って実施していくことが求められていると思います。会員資格の見直しや魅力ある S A の活動を展開することによって、新しい人材を得ることが今後の S A 連協の活動の決め手になると考えています。

S A 講座の意義は社会貢献リーダーの養成

受講生の減少 現状を見据え講座に工夫

大阪府高齢者大学校理事長 長井 美知夫

私たちは皆さんと一緒に大阪府から高大の事業を引き継ぎました。なかでも、社会貢献事業の発展のためにS A関係の2教科を重視してきました。理由は、いまさら私が申しあげるまでもなく、社会貢献事業を発展させるためのリーダー養成の意義を強く意識したからです。

しかし、現実には厳しく、当初から受講生の募集は困難を極めました。皆さま方の並々ならぬご協力により、何とか充足してまいりましたが、最近では事柄の性格上、そういう努力も必要不可欠のことではあるが、それだけに甘んじず、視点を変えて考えてみることも大切だと考えるようになりました。すなわち、角度を変えて考えると、受講生の意識の現実と私たちの授業カリキュラムのあり方の間にズレがあるのではないかと考えての模索から始めました。そんなことから、今年度はインターンシップ制を始めました。この結果は、今年度を終えると分かりますが、それとは別に講座を出口から考え直してみたいと思います。

すなわち、卒業後の地域での具体的な活動の姿です。この点では、社会福祉協議会がもつとも守備範囲が広く経験も豊かだと思えます。そこで、大阪府社会福祉協議会と協議し、今年度から全面協力の体制と府社協からの理事派遣を要請しました。そこから新しい突破口を見出したいと思えます。また、この体制・新しい活動のスタイルは、高大のみならず、これから新しいNPO法人としての活動を始める大阪アクティブシニア協会でも、実施していきたいと考えています。

もし、このスタイルを持つ活動が成功すれば、社会の発展にともない従来の活動から新しい分野と活動スタイルを求められている現在、それにふさわしい活動をはじめることになると確信しています。是非、この私たちの取り組みにご注目いただき、共に活動できればと願ってやみません。皆さん、今後ともよろしくご教導ください。

渉外委員会

渉外担当としての思い

計画、実行の所感

渉外委員長 大川正彦(藤井寺 18期 国際交流)

S A組織の存亡の危機感を感じ、S Aファンづくりの計画・実行をプロジェクト組織で行いました。思った以上にS A講座、S A組織の変化、弱体は進んでおり、根が深くカンフル剤では効かず、漢方薬で根気強く続けることが大事と実感しました。

S Aファンづくり (昨日の人・今日の人・

明日の人) 対策を振り返ってみると一

①昨日の人ファンづくり (21年度修了生) に対しては修了後の縁をつなぐため、また、認定申請業務を受け付けることでS Aへの入会率の把握、引き続き各地区から入会を推進するチャンスをつくる。おおむね計画通りの成果をあげているが、22年度修了生の現状入会率をみると、23年度は非常に厳しい状況が見える。

②今日の人ファンづくり (22年度修了生) に対して現役受講生に太いパイプを持つ。早めのスケジュールを仕掛け2回の交流会、文化祭、現役から地域活動への参加呼びかけを行いました。入会率は2月現在、50%未満、価値観(高大の修了生でS Aの修了生でない)

の違いが非常に厳しい。対策として全科目説明会、申込会を設けるが、チャレンジに終わる。新しい戦略、戦術が必要と感じる。

③明日の人ファンづくり (23 年度受講生) 入り口で多くの受講生に S A コースを選んでもらうための対策。募集要項の変更、高大との検討で S A コースの差別化。レイアウト、特記、プログラム内容の変更、インターンシップ、ワークショップの導入強化、対策済みの受講生募集パンフレットなど。地区 S A あげでの一声運動、等々考えることはやったつもりが、2 月 15 日の募集締切では、S A 2 コースは 30 名を割る結果で、開講が危ぶまれることになり、大きな課題を残すことになった。

<個人的見解>

高大校修了生 2 期:22 年度の実態を踏まえ新しい戦略、戦術は会員一人ひとりの自覚と実践ではないかと思う。具体的には①会員一人ひとり初期の S A とのかかわりを思い出し、いかにあるべき考える②地区 S A の現状を見直し、短期、中期のシミュレーションを描き、現行会員の退会を防ぐため、魅力ある会の運営、新しい会員の確保、待ってはいはこない現状、自ら広くオープンな会員の確保 (会則変更)。また、会役員の人材育成で会の活性化が必要ではないか③本部連絡=各地区からの推薦代表が運営できる体制の構築 (各地区会員がこのことを自覚) このための会則、会議のあり方、組織のあり方の改革、改善の理解がないと地区を支える本部連協体制はできないと思われる。

広報委員会

HP の整備とブログの活用

福祉 IT 活動地域の拡大

広報委員長 石川和男 (大阪 19 期 地域活動)

昨年は 20 周年記念誌発行という大事業を無事終了しました。本年はホームページの整備と福祉 IT の活動場所の拡張を目標としてスタートしました。

<ホームページ部会> 連協のホームページをアクセスしてみますと、多くの地区で何年も内容が更新されていない実態が明らかになり、前田部長にホームページの更新の推進を依頼しました。

ホームページ部会では方式を変更し、ブログ方式を採用することとして勧めることに決定し、皆さんに呼びかけ、講習会を 10 回開催しました。お陰さまで、皆さんの関心がたかまり、多くの方々が参加され、ようやく各地でホームページの更新とブログの開設が行われ、また、使い勝手も非常に良くなったと好評でした。今後、皆さんが、いま以上にホームページやブログを活用され、会員の皆さまや一般の人に読まれるように推進したいと考えています。なお、来期はできますれば、パソコン教室を開催したいと考えています。

<福祉 IT 部会> 榎本委員長の方針でシステムの更新を行い、本部での講習会を、また、各地区での講習会を行ってまいりました。支援する授産施設 (福祉事業所) もメンバーの活動により各地区で徐々に増加し、地道な努力が実っています。今後もみなさんの支援を受けて授産施設の拡大活動を行います。

<広報誌部会> 昨年、20 周年記念誌を発行しましたが、今年は広報誌の内容を『S A 連協は何処へ』をテーマにそれぞれの立場で投稿を依頼して年間 2 回発行しました。いま



編集会議の広報部員

S A 連協は S A 連協そのものの存在意義、高大との関係、委員資格のあり方など、いろいろなことが曲がり角にきています。皆さんにご忌憚のない前向きなご意見を出して頂き、次の S A 活動につなげられたらとの思いで、編集を進めて行きます。

部会だより
福祉 I T 部会

福祉夢ひろば

今年度の活動を振り返って

福祉 I T 部会長 榎本 龍彌 (いけだ 21 期・福祉 I T)

福祉 I T 部会は、障がいを持った方たちが作った製品（授産製品）を紹介するサイト

「福祉夢ひろば」

(<http://fukushi2yume.web.fc2.com>)

を運営しています。今年度のトピックスを紹介いたします。

掲載施設の広がり：掲載している授産施設（福祉作業所）は、今年度新たに 6 カ所掲載し、2011 年 2 月 15 日現在で 15 カ所に達しました（図参照）。北ブロックでは、摂津市のサポーターのご尽力により、今年度 3 カ所を掲載する運びになりました。摂津市社会福祉協議会とも相互にリンクを張っています。南ブロックでは、泉州南の部会員のご努力により、熊取町の施設を掲載することになりました。私たちの活動は大阪府内全域を目指していますが、北は池田市から南は熊取町まで広がりました。

授産製品の展示・即売：授産製品はサイトでの紹介だけではなく、イベント時に展示・即売を例年行っています。昨年 12 月にビッグ・アイで開催された高大文化祭で、部会員の無償ボランティアで 3 カ所の施設の授産製品を展示・即売し、多額の売上げで授産施設に喜ばれました。

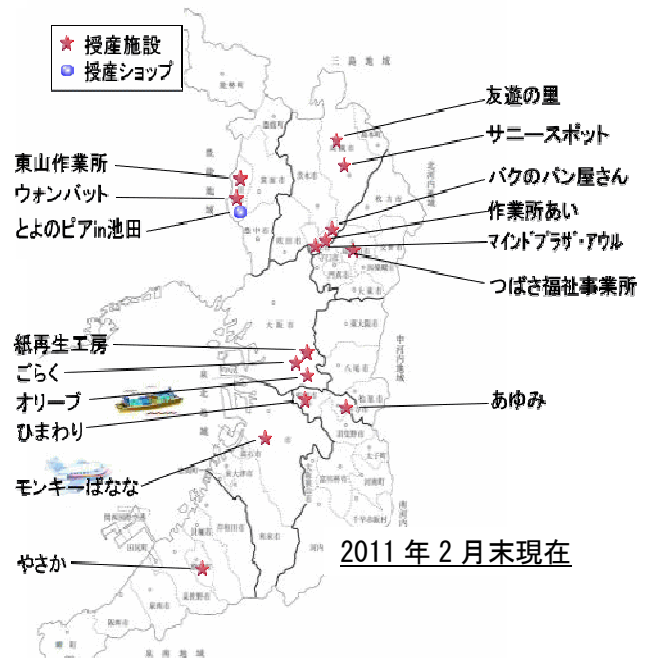
サイトのリニューアル：外部の多くの方々にサイト「福祉夢ひろば」をアクセスしていただけるように、専門家によるホームページ診断を受け、指摘された改善項目のいくつかを織り込んで、サイトのリニューアルを 2011 年 2 月に行ないました。外観上はあまり変わっていませんが、内部の作りは大幅に変えました。お陰さまで、「授産製品の紹介」で検索を行うと、トップに出てきます。

「S A とよなか」との協働：2009 年 8 月に「S A 高槻」の例会で、本部会の活動を紹介

させていただき、これを契機に高槻地区での「福祉夢ひろば」活動が活性化しました。本年度は 2010 年 10 月に「S A とよなか」の例会で本部会の活動を紹介させていただき、「S A とよなか」とのコラボレーションにより、豊中市社会福祉協議会を介して授産施設の団体「なかま」に私たちの活動を紹介する場を持たせていただきました。その結果、3 カ所の施設から掲載の希望が寄せられ、これらを訪問して覚書の内容と掲載に必要な資料の内容を説明し、現在ページを鋭意作成中です。

障がいを持った人たちへの福祉ボランティア活動「福祉夢ひろば」に興味をお持ちの地区 S A と連携の輪を広げていきたいと思っています。是非、声を掛けてください。

地域の授産施設への訪問、「福祉夢ひろば」に掲載する記事の取りまとめ、各施設のページの作成と更新、このサイトを広めるために関連機関との折衝など、多くの活動が必要です。地域の授産施設を訪問できる方、HP 用のデジタル写真を撮影・編集できる方、ホームページの作成・更新ができる方、これらができなくても、少しでも障がいを持った人たちの役に立ちたいと思われている方は是非部会に参加してください。



部会だより
ホームページ部会

18地区でブログが スタートしました!

ホームページ部会長 前田 正勝(大阪 20期・福祉 I T)



地区の活動状況をブログで紹介する「活動ブログ」が18の地区でスタートしました。昨年7月から始めたブログ勉強会にHP部会のメンバーが熱心に参加され、月約30本の記事を発信するまでにパワーアップしました。

今回の「HP部会 部会だより」では、

(1) 1-2月の発信記事のタイトル一覧

(2) SAの活動内容がひと目でわかる

「検索」のしかた

をご紹介します。地区のパワーが結集したブログの世界を誌上でも実感ください。

(1) 1-2月の発信記事のタイトル一覧

ようこそシルバーアドバイザー高槻ブログへ

- ・SA高槻 3月 4月行事活動予定表
- ・男の料理教室 (2月17日)
- ・総合福祉フェア
- ・男の料理教室 (1月20日)
- ・SA高槻幹事会開催される
- ・高槻の歴史紹介します。
- ・今年も元気にスタートいたします。

シルバー・アドバイザー茨木の活動予定と報告

- ・イベント活動予定 (23年2月21日~3月31日)
- ・定期活動予定 (2月~3月)
- ・活動報告 (02/14)

ふれあい吹田

- ・園芸福祉ボランティア風景

- ・新年の挨拶

SAとよなか 活動報告

- ・2011年3月 新企画
お自慢の会“イランについて知りたくないですか”
池田さつき山ウォーキングとラーメン講習会

シルバーアドバイザーいけだのブログ

- ・ブログ研修の第2回(復習)を行いました
- ・不思議なカードを作りました!
- ・さつき科学フェア「紙ヒコーキを作ろう」
- ・新春ボランティアの集い
- ・新年のご挨拶

SA箕面・豊能

- ・はじめまして

大阪市SA連協 活動ブログ

- ・ボランティア活動発表会日程変更のお知らせ
- ・ディスコン大会
- ・新年会

SA連協 SAひらかた(枚方市)の活動ブログ

- ・祝:枚方市長表彰
- ・SAひらかた2月予定
- ・おもちゃ作り活動事例
- ・SAひらかた1月予定

SA寝屋川連絡会

- ・“小学校”チャレンジクラブ”授業に手作りおもちゃで参加
- ・行事のお知らせ 2011・2月
- ・ふれあい活動「紙芝居」
- ・今年も元気にスタートしました

七夕伝説 星のまち 交野

- ・今年初めてのおもちゃ作り
- ・今年最初のおもちゃ作り いきいきランド

SA守口の活動ブログ

- ・「隣のトトロ」の各キャラがわかりますか?
- ・我が精鋭部隊です

NPO法人 SA門真の会

- ・新年初の定例会・楽しい余興付き新年会
- ・月出町「ふれあいサロン」おもちゃ作り

シルバーアドバイザー松原会

- ・平成23年3月の活動予定
- ・最近の活動
- ・歌体操同好会のご報告

シルバーアドバイザー (SA) 藤井寺の活動ブログ

- ・2011年2月行事予定
- ・2月定例会議
- ・健康体力教室第1回会合
- ・みささぎ会で利用者の方々と体操・お手玉・合唱
- ・2011年1月行事予定
- ・みささぎ会で利用者の方々と体操・お手玉・合唱
- ・新年昼食会
- ・1月定例会議

シルバーアドバイザーはびきの活動目録

- ・最近の主要活動内容
- ・新年互礼会「春の宴」おもちゃ作り指導 伝承昔あそび体験の指導
- ・冬休み子ども企画「手作りおもちゃ教室」
- ・羽曳野市第41回市民体育祭

自然豊かな河内長野からの情報です!

- ・千早赤阪村のすいせんの丘
- ・天見子ども自然とあそびの教室
「焼いもとトンネルシアタ」
- ・新年あけましておめでとうございます。

いずみSAへようこそ

- ・はじめまして

ようこそSA泉州南のブログへ!

- ・各グループの活動予定(平成23年2月度)
- ・各グループの活動予定(平成23年3月度)
- ・平成23年2月度定例会議録
- ・平成23年1月度定例会議録
- ・新年の誓い

(2) SAの活動内容がひと目でわかる 「検索」のしかた

早い地区では昨年10月ぐらいからブログがスタートしています。現在、府SA連協全体で約200の記事が掲載されており、これに毎月30記事ぐらいが追加されています。

SAがどんな活動をしているかが一目瞭然になっています。

さらに検索サイトで検索をすると、より詳しい内容が府SA全体の活動として表示されます。18地区の活動内容が、府SA全体の活動として横ぐしされて紹介されるわけです。

一例として検索サイトのグーグルで「SA おもちゃ FC2」で検索した例を紹介します。いけだ、高槻、寝屋川、門真、ひらかた、泉州南などで「おもちゃ」をツールにボランティア活動した記事がズラリと表示されています。

仲間同士でも他の地区でどんなことをしているか参考になりますし、また外部のかたへの紹介ツールにもなりますので、「SA ○○○(検索したい言葉) FC2」の検索をご活用ください。

＜グーグルでの検索例＞

SAおもちゃ FC2
約 153,000 件 (0.15 秒)

日本語のページを検索

[シルバーアドバイザーいけだのブログ SA連協北ブロックのおもちゃ活動 ...](#)
2010年12月4日 ... そこで連協北ブロックの手づくりおもちゃ活動として、SAいけだのおもちゃ部会も参加しました。前日の19日に準備した牛乳パックで作る「ヨーヨー」、「スロー飛行機」、折り紙で作る「ミニバック」各々100個くらい用意しました ...
saikeda2010.blog89.fc2.com/blog-entry-20.html - キャッシュ

[21年8月18日 SA高槻主催親子おもちゃ教室-ようこそシルバー ...](#)
私たちSA高槻では積極的に地域社会との交流を推進しています。
takatukiblog.blog112.fc2.com/blog-entry-23.html - キャッシュ

[SA寝屋川連絡会 小学校「チャレンジクラブ」授業に手作りおもちゃで参加](#)
2011年2月9日 ... SA寝屋川連絡会。長年わたり培ってきた「手作りおもちゃ」や「健康音楽体操」等を通して地域福祉活動・世代間交流・時には国際交流にも参加し地域のボランティア仲間と ... 手作りおもちゃの生徒は13名 六角数字返しに挑戦 レーシングカーでは廊下で早速カーレースに歓声上がる ... Author: SA寝屋川FC2ブログへようこそ! 最新記事: 小学校「チャレンジクラブ」授業に手作りおもちゃで参加 (02/09) ...
saneyagawa.blog51.fc2.com/blog-entry-14.html - キャッシュ

[SA寝屋川連絡会 手作りおもちゃ](#)
2010年10月29日 ... SA寝屋川連絡会。長年わたり培ってきた「手作りおもちゃ」や「健康音楽体操」等を通して地域福祉活動・世代間交流・時には国際交流にも参加し地域のボランティア仲間と活動しています ... tag : エスポール 教育センター 総合センター 市民会館 ふらっとねがわ 手作りおもちゃ イベント ... Author: SA寝屋川FC2ブログへようこそ! 最新記事: 小学校「チャレンジクラブ」授業に手作りおもちゃで参加 ...
saneyagawa.blog51.fc2.com/?tag... - キャッシュ

[NPO法人 SA門真の会 おもちゃ作り](#)
2011年1月9日 ... 参加スツウ SA門真の会 6名 平成23年 新年早々「ふれあいサロン」が開かれ、自治会会員と老人会、子ども会三世代交流の場として約50名の参加者が集まり催しのなかでおもちゃ作りが盛り上がりました。牛乳パックを利用し、エコでサイコロ ...
sakadoma.blog94.fc2.com/?tag... - キャッシュ

[SA連協 <SAひらかた>\(枚方市\)の活動ブログ おもちゃ作り活動事例](#)
おもちゃ作り活動事例。SAひらかたのおもちゃ作り活動事例 定期的に小学校でのおもちゃ作りを、休みの日のふれ愛フリー スクエアと通学日の授業中に行う二通りの活動している。その雰囲気を写真から見てみたい。下記対話は、教室での授業中の風景です。 ...
sahirakatacity.blog119.fc2.com/blog-entry-8.html - キャッシュ

[ようこそSA泉州南のブログへ! おもちゃ教室](#)
2010年12月7日 ... SA泉州南は第2の人生を思いやりの心で自らの生きがい作りと、地域の関係団体等との連携により活力ある地域福祉活動の推進へ寄与しようとするボランティア団体です。このブログはその活動の記録です。
sasensyuminamiblog.blog71.fc2.com/?tag... - キャッシュ

—羽曳野市・友好交流都市協定 15 周年—

ウィーン市・ヒーティング 訪問団の一員として参加

S Aはびきの 松田 嘉威 (19 期・健康増進)

2010 年は羽曳野市とオーストリア共和国ウィーン市 13 区ヒーティングとの友好交流都市協定 15 周年になります。これを記念して市ボランティア連絡協議会のメンバー有志、13 名の訪問団の一員として参加いたしました。日程は 8 月 25 日から 31 日の 1 週間です。



ヒーティング訪問団・メンバー 13 名
(シェーンブルン宮殿で)

ルネッサンス・ウィーンホテルに連泊して、多方面にわたり訪問活動をしました。昨年来日された区長・ゲルストバッハ氏をはじめ助役、事務局長ほか多数の方々に温かく歓迎されました。羽曳野市長の親書と日本の織物の飾りを贈呈し、13 名による銭太鼓を、有名なラデツキー行進曲とともに披露いたしました。大変喜ばれた区長は、今まで数多くの日本人がわが国を訪れたが、ボランティア団体の訪問は初めてであり、市民交流は意義あることであり、感銘を受けたとのことでした。

2 日目は幼稚園を訪問、持参した折り紙のコマを自分で作り、回すと、子供たちは面白くなり時間の経つのを忘れていました。次に、カリタスセンターで期限切れに近い商品、野菜、果物をスーパーなど物販店から一箇所に集配し、(運搬車もボランティアのメンバーにより手配する) 基地内で食用にできる物、廃棄する

物、鳥に与える物など仕分け作業に従事しました。3 時間位で汗だくです。午後、教会で低所得者に配分する様子を見学しました。数量に関係なく、1 ユーロですべて配分していました。数ある資源を大切に、また、お金 1 ユーロでも参画している風土を学びました。3 日目は老人施設の見学と、園庭で銭太鼓を披露し、ご老人たちは名誉あるラデツキー行進曲に感激していました。立派な公立老人ホームで 400 人ほど収容の 5 階建て、1 ルーム式です。15 年以上税金と年金を納めていると無料とのこと。老人が生き生きしています。

残りの日程は世界遺産のシェーンブルン宮殿 (ハプスブルク家 600 年の宮殿)ウィーンの森のベートーベン記念館 (遺書の家)、オペラ座、ドナウ河クルーズなどを見学、体験しました。ウィーン市内は交通網が非常に便利で地下鉄、トラム (路面電車)、バスがあり、72 時間フリーパス券を 12 ユーロで購入、自由に行動する時間もありました。シェーンブルン宮殿へは 3 回行きました。特筆すべきは地下鉄に駅員さんがいないこと、改札口がないことです。不定期に検札して、違反者から罰金を取るとのこと。コストダウンの政策が感じられました。

公式訪問中は現地の通訳付でしたが、それ以外は参加者の総意で行動しました。13 名の最年長は 82 歳の S さん、平均年齢 71 歳、全員無事で帰国できたことを感謝し、今年の夏、涼しい国でボランティア訪問が完了したことを市長に報告しました。T 団長ありがとうございます。

Danke Schoen (ダンケシェーン)

編集後記

昨夏の猛暑は地球温暖化の影響との説もありましたが、であれば今冬の厳しい寒さや豪雪は説明に困りそうです。小さな人間の知恵や仮説などは大自然の前では無力だと感じざるを得ません。

S A 連協にとっても、この一年は試練の年だったのでないでしょうか。地区 S A 会員の高齢化が進む一方で、供給源たる大阪府高齢者大学の S A 関連講座受講者の減少に歯止めが掛りません。S A 全会員の危機感の高まりが問われています。

皆様方のご協力の下、ここにシルバー通信後期号をお届けできるのは、私たち編集委員の喜びとするところで、もつと地区 S A や各ブロックでのトピックを掲載出来なかったことは反省材料の一つです。もうすぐ開花を迎えます。年年歳歳花相似たり、歳々年々人同じからず。皆様方のご健康と更なるご活躍をお祈り申し上げます。多謝。

「追記」本稿作成の 5 日後に東日本は未曾有の天災に見舞われました。犠牲者のご冥福と被災者のご健康、また被災地の日も早い復旧、復興を心より祈念致します。また、微力でも何か役立ちたいか考えた気持ちです。

(S 生)